

ゆ～る～む通信

5月号

学びの多様化推進担当

菊森 由真

Pickup! 校内別室とは・・・

令和7年度より、練馬区のすべての中学校に「校内別室」が設置されました。校内別室とは、教室に入ることが難しい生徒が、自分のペースで安心して過ごすための校内での居場所になります。学校によって、校内別室の名称、設置曜日や時間などの環境は違いますが、主に自習、読書、タブレット学習、先生との話など、本人の状況に合わせて過ごしています。別室には、必ず支援員がおり、担任以外の「第三の大人」に相談できる環境も整っています。

<校内別室の意義>

1. 「安心できる居場所」の確保

集団生活や教室の刺激（音、視線、雰囲気）がづらいと感じるお子様にとって、少人数で静かな別室は心理的な安全地帯となります。自分のペースで過ごせるため、エネルギーの枯渇を防ぎ、「学校＝怖い・苦しい場所」というネガティブなイメージを和らげることができます。

2. 「学校とのつながり」の維持

不登校になると学校から孤立しがちですが、校内にいることでつながりを維持できます。そして、このことは最大のメリットだと考えています。担任から学校の様子を聞いたり、気が向いた時に友達と会うなど、緩やかな交流も可能です。

活用のヒント

校内別室を最大限活かすためには、「教室に戻るための練習場」と考えすぎないことが大切です。まずは「学校に居るだけで100点満点」と捉えることで、お子様の自己肯定感が回復しやすくなります。お子様の今の状態に合わせて、まずは短時間の利用から検討してみてもいいでしょうか？

昨年度、校内別室を活用してステップアップしていった生徒を見てきた中で、強く感じたことは、人にもよりますが、自己肯定感の低下です。校内別室で充電しながら自己肯定感を回復していくことが、一人一人の成長につながると思います。

Check! ステップアップストーリー

校内別室を利用しながら、生活リズムを安定させ、朝から登校することができました。また、担任や別室支援員と関わることで、本人にとって、登校する意義を感じ、それが成長につながったと思います。

「校内別室」利用

- 決めた時間に登校
- 規則正しい生活

安心できる場所

「朝学活」「特定の授業」に参加

美術家庭

朝学活、美術や家庭科など、自分にとって出やすい授業から参加

(ステップアップしたこと) 生活リズムを安定させ、1年間継続して、登校することができた。時間を決めて別室を利用しながら、2学期以降は、朝学活への参加や美術や家庭科といった授業にも参加できるようになった。校内別室でも自分できちんと学習ができていた。別室支援員さんからも、あいさつや話をするときの声が大きくなった（自信がついた）と成長を感じる言葉があった。

ガイドブック紹介

本資料は、昨年度、保護者の方の不安や困り感を少しでも解消していくために、練馬区でガイドブックが作成されました。



学校に行きづらい子どもの保護者のためのガイドブック

面談は随時受付しています ～お気軽にご相談ください～

直接ご連絡いただくか、各学校の担任や特別支援教育コーディネーターを通して、面談をしています。お気軽にご相談ください。